

Title	デザイン理論 46号 投稿規程/執筆要領/編集後記/ 奥付
Author(s)	
Citation	デザイン理論. 46 P.212-P.213
Issue Date	2005-05-30
Text Version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/11094/52950
DOI	
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/>

「デザイン理論」投稿規程

昭和37年11月11日改正, 昭和60年11月8日改正,
平成2年11月10日改正, 平成6年7月9日改正,
平成14年11月9日改正

1. 内容：デザインに関する未発表の論文, 研究報告等。
2. 投稿資格：本会会員
3. 採 択：採否及び掲載号については編集委員会が決定する。
4. 査 読：学術論文については, 編集委員会が査読者2名に依頼する。査読結果は編集委員会が本人に通知する。結果は, (A)無条件採用, (B)条件採用, (C)不採用とする。
査読期間は2ヶ月程度とする。
5. 執筆要領：別に定める。
6. 提出期限：基本的には随時。ただし, 学術論文は, 査読のため, 5月春号掲載希望は, 1月15日, 11月秋号掲載希望は, 6月30日を〆切りとする。
学術論文以外は, これは投稿予告の期限で, 実際の投稿期限は, それぞれ3月31日, 8月31日となります。
7. 提出先：意匠学会編集委員会
なお, 以上の規程は, 平成14年11月9日より発効する。

「デザイン理論」執筆要領

平成6年6月4日 編集委員会決定

1. 原 稿：
原稿は400字詰め横書原稿用紙に横書きとする。
ワープロで作成する場合は, A4大の紙に1行40字, 1頁30行程度で作成すること。査読論文の場合は最終原稿とともに, また, 研究報告等は原稿提出時に, フロッピー(機種, ソフト等を明記)も提出すること。いずれの場合も, 提出に際しては, コピーをとって手元に保存すること。
また, 所定の割付用紙に割り付けを行なって, 原稿とともに提出すること。割付用紙は必要に応じて各自コピーすること。
2. 原稿の分量：
分量は学術論文と研究報告はともに, 図版, 図表, 注などすべてを含めて, 刷上りで, 14頁以内とする。(400字詰原稿用紙では約45枚である)。紙上発表は8頁以内, 発表レジメは2頁とする。
3. 原稿の構成：
原稿には, 表紙, 本文, 注, および学術論文と研究報告には欧文(原則として英文)要約, キーワード, 目次を付すこと。
表紙には, 表題, 著者名(ふりがな付き), 所属機関名を和文と欧文(原則として英文)で書くこと。
欧文要約は, 刷上り1頁とする。語数は約200語。必ず, タイプライターまたはワープロで作成すること。また, できる限り, 当該言語を母国語とする人の校閲をえておくこと。
キーワード(和文および英文)は, それぞれ5語以内とする。
4. 図・表のレイアウトなど：
図版はモノクロームとし, 位置の指定, 大きさ, レイアウト, 必要なトリミングなどはすべて執筆者が行なうこと。レイアウトなどには学会指定の割付用紙で行なうこと。
図版などの著作権の問題があると思われる場合は, 執筆者自身が事前に許可をとっておくこと。当学会は著作権についての責任は負わない。

編集後記

昨年度末に役員改選が行われ、新会長の下、新たな歩みが期待される年です。編集委員会も、梅宮弘光先生を副委員長に迎え、主に秋号を担当していただけることになりました。春号は今しばらく渡邊が中心となって担当します。編集委員のメンバーも半数替わり、さらなる充実に努めます。

年2回の発行となって2年目ですが、当初危惧していたような投稿者不足もなく、今号の9点の学術論文に明らかなように、嬉しい悲鳴という状況です。ただ昨年もそうでしたが、春号と秋号で投稿者が春号に偏り、アンバランスが生じています。秋号への投稿が増えることを願っています。

投稿者に悩むことがないのは、学会の活動としては活況の証ですから、嬉しい限りです。勿論問題がないわけではありません。査読つきの論文が、博士後期課程の学位審査の申請条件となっているケースが多く、それが現在の投稿者の多さの要因となっていると思われまます。これ自体に問題があるわけではありません。問題は、課程修了後の研究者としての活動環境の厳しさです。若い研究者に、常勤は勿論非常勤のポストですら、潤沢に用意されている状況ではありません。むしろ厳しさが増しています。

研究の継続とその成果の発表を学会としては期待するのですが、容易ではありません。30歳代、40歳代の研究者の研究発表が増えているとは言えません。この状況は簡単には解決できませんが、発表の場を確保することが、研究の継続に少しでも寄与することになると願って、努力したいと思っています。

(文責 渡辺 眞)

編集委員 (旧)

足立裕司	太田喬夫	榊 勝彦
榊原吉郎	佐藤敬二	並木誠士
橋本英治	藤田治彦	藪 享
横川公子	渡辺 眞 (委員長)	

デザイン理論 46号

Journal of the Japan Society
of Design, 46/2005

発行日 2005年5月30日

発行 意匠学会

事務局 〒606-8585

京都市左京区松ヶ崎御所海道町

京都工芸繊維大学工芸学部造形工学科意匠学教室内

TEL 075-724-7603

FAX 075-724-7629

発行者

意匠学会 編集委員会

事務局 〒610-1197

京都市西京区大枝番掛町13-6

京都市立芸術大学美術学部第3研究室群合同研究室内

TEL/FAX 075-334-2255

編集責任者 渡辺 眞

印刷所 (株)北斗プリント社
